

症例4 23歳男性

食べられない、動けない……

病歴

東京でマンガのアシスタントの仕事をしていたが、X-1年12月頃にマンガ家になる夢をあきらめ、その頃から**食事量が減ってきていた**。マンガのアシスタントは月の半分泊まり込みで、昼に起きて午前3時頃まで働く生活であった。

X年4月にアシスタントをしていたマンガの連載が終了して仕事がなくなり、5月から長野の実家に戻ってきた。6月から**少食になり、ほとんど外出しなくなった**。6月末の時点ではコンビニなどに出かけることはできていた。

7月初旬からは倦怠感が強くなり、頭もぼーっとするようになり、**動作が全体的に緩慢になって2階から1階のトイレに行くのも大変になった**。7月6日頃からは**食事もほとんど摂取できなくなり、立位を保つこともできない状態**になってしまったため、8日に近医を受診した。精査を勧められて10日に当院外来を受診した。

Review of System (一部)

頭痛なし、腹痛なし、嘔気・嘔吐なし、**水様下痢あり**

体重は3か月で10kg減少(58kg→47.5kg)

趣味はあったが現在は気力がなくてやる気にならない。

身体所見

General appearance: とても弱々しく生気がない、ぼーっとしている

体格: 身長 173.0 cm、体重 47.5 kg、BMI 15.9

バイタルサイン: 意識 GCS E4V5M6だが会話の反応は遅い、血圧 82/50 mmHg、脈拍 60/分・整、呼吸数 12/分、SpO2(自発呼吸、室内気)99%、体温36.0°C

HEENT: 眼球突出・陥凹なし、眉毛異常なし、眼瞼結膜軽度貧血、眼球結膜黄染なし

胸部: 心音 I → II →、過剰心音なし、心雑音なし、呼吸音左右差なし

腹部: 腹部平坦、腸音正常、全体的にやや硬いが圧痛や反跳痛はない

四肢: 浮腫なし、関節腫脹・変形なし

皮膚: 全身蒼白、乾燥していて落屑あり、全体的に毛が薄い、明らかな皮疹はない、色素沈着はない

車椅子からベッドへの移動も介助が必要。車椅子トイレで排尿する際にズボンの上げ下ろしも介助が必要。水様便で失禁あり。尿失禁もあり。

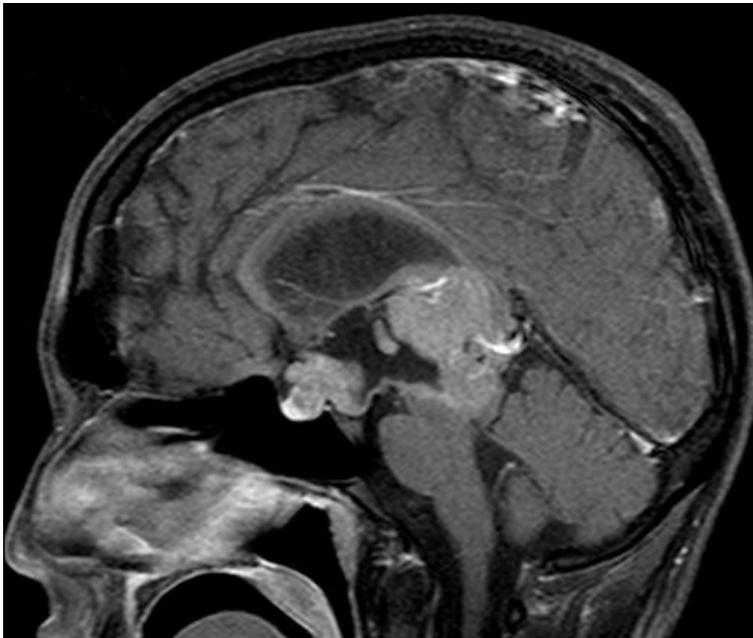
症例の経過

病歴と身体所見から二次性副腎機能不全を疑った。

血液検査

好酸球比率の増加(11%)、貧血(Hb 12.5 g/dL)、低血糖(48 mg/dL)
電解質異常なし(Na 143 mEq/L、K 4.0 mEq/L)

造影MRI



内分泌検査(早朝)

TSH 2.084 μ IU/ml、free T4 0.63 ng/dL
ACTH 11.6 pg/ml、コルチゾール1.5 μ g/ml
GH 2.82 ng/ml
LH <0.1 IU/ml、FSH 0.26 IU/ml

診断

胚細胞腫

汎下垂体機能低下症

内分泌疾患の ヒ ケ ツ ☆

詳細な身体所見をとる前に



全体を5感(6感も!)で感じましょう

いろ つや かたち = 芸術品をみるのと同じ